

公開講演会

平成26年

10月26日(日) 13:30~16:00

[場所] 宇治おうぼくプラザ 1階 きはだホール

[定員] 300名

京都大学 宇治キャンパス公開行事

宇治キャンパス公開は

10月25(土)・26(日) 両日開催です

事前登録不要
入場無料



プログラム

●13:30 ~ 13:40

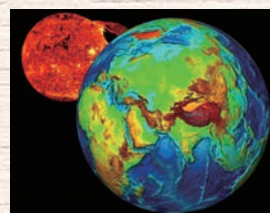
ごあいさつ

●13:40 ~ 14:15

「電磁波がつくる大気環境、電磁波でさぐる地球環境」

教授 津田 敏隆

私たちが生きている大気圏は太陽エネルギーで維持されています。太陽が放射する電磁波（電波と光）の影響を受け、地球大気は様々な時間・空間スケールの変動を示します。一方、電磁波を使うと大気状態を測ることができます。この講演では太陽と地球の関係を考えるとともに、地上および人工衛星から大気環境をリモートセンシングする最新の計測法を紹介します。



●14:15 ~ 14:50

「新材料と伝統技術で安全安心な木材の建物をつくる」

教授 五十田 博

木材を使った建物というと、皆さんはどんなイメージを持つでしょうか？身近に2階建ての住宅が多くあります。大きな建物は、鉄やコンクリートで建てられるので、それよりも弱そうだと思われるかもしれませんが、木材を使った建物にも社寺建築のような大きな建物、写真のような高層建物もあります。これらの木造建物を支えている伝統技術や新材料、そして、安全性について概説します。

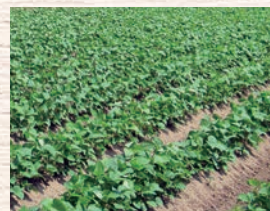


●14:50 ~ 15:25

「微生物の力でダイズを育てよう」

助教 杉山 暁史

植物の根の周りには様々な微生物がいます。その中には、植物の生長を助けてくれる微生物もいます。本講演では、私たちの食卓に欠かせないダイズの栽培に重要なパートナーとなっている微生物、「根粒菌」の働きを紹介します。地球規模で食糧不足がますます深刻化すると予想されていますが、持続可能な食糧生産に向けて、生存圏を支える微生物の能力やその可能性を考えてみましょう。



●15:25 ~ 16:00

「害虫の目から見る生存圏」

助教 柳川 綾

私たちは人間の生活に害を及ぼす虫を害虫、利益をもたらす虫を益虫と呼んだりしますが、害虫も益虫も生態系の中ではなんら違いはありません。生存圏に虫として存在しているだけです。人間生活と昆虫、それから微生物まで含めて、人間の持続的な快適生活に必要なものは何か、シロアリをモデルにした害虫管理を通して、虫の視点から考えていきます。

